



## 法枠工法

## エコ法枠工法



## 法枠工法

## エコ法枠工法

エコ法枠



エコ法枠にウッドチップを詰めた状態



エコ法枠とは、長さ約1mの専用の麻袋に、ウッドチップを詰めた物を法枠にして、格子状にならべて法面を保護する工法です。法面に草が生えそろう1～2年後には、法枠はウッドチップと共に分解してなくなり、自然の景観のみを残す、環境配慮型リサイクル法枠工法です。

工口法枠 制作状況



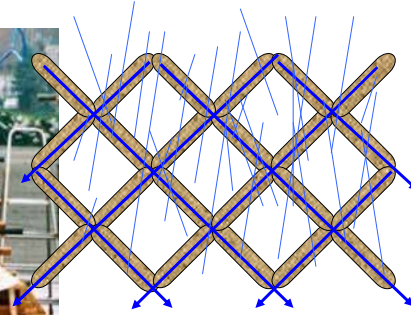
工口法枠 施工状況



## エコ法枠 法面保護性能

人工降雨による比較試験 時間雨量60mm相当

エコ法枠 プラスチック法枠



雨水が法枠の中を流れる為、  
法面を侵食から保護する

土壌流出量  
0.32kg/m<sup>2</sup>      0.75kg/m<sup>2</sup>

エコ法枠は、法面に雨が降ったとき、法枠自体が排水管の役目を持つので、  
交点からの雨水による侵食(エロージョン)を防ぐ役目があります。  
法面の土壌流出量を2/1～10/1に抑えることが出来ます。

## エコ法枠工法の特徴・効果（法面緑化）

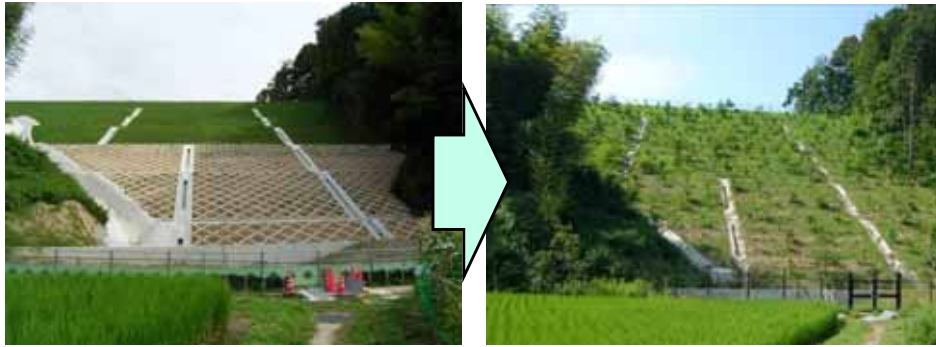


エコ法枠自体に保水性があるため、法面土  
壌の乾燥を防ぎ、  
緑被率が10%～30%  
向上します

緑化が進行すると同  
時に、法枠自体は分  
解していくので、後  
には自然な景観のみ  
が残ります。

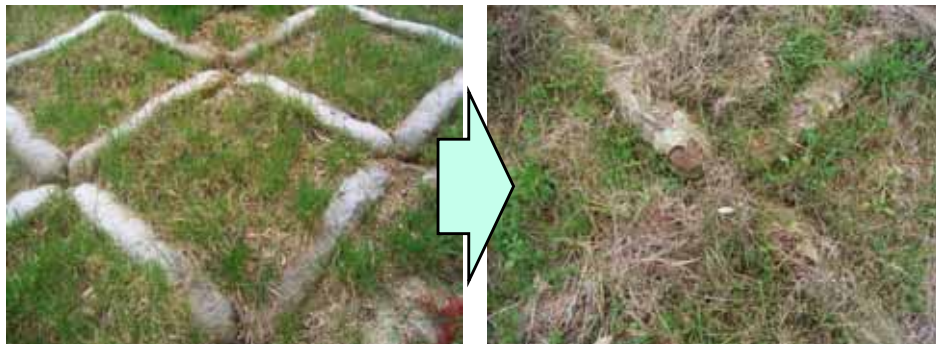


## エコ法枠 施工事例 1



愛知県豊田市鞍ヶ池公園の駐車場の法面です。6段の法面の、下部3段にエコ法枠を設置しました。2年ほどでエコ法枠はほぼ分解されました。

緑化の進行に合わせて  
徐々に法枠が朽ちていきます



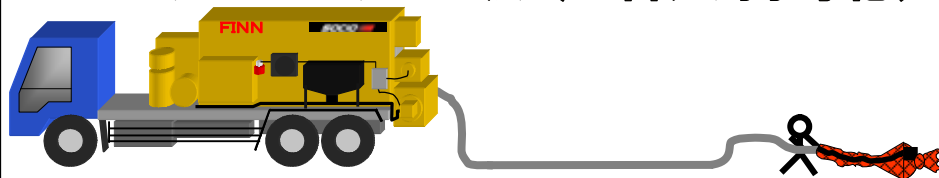
## エコ法枠 施工事例2



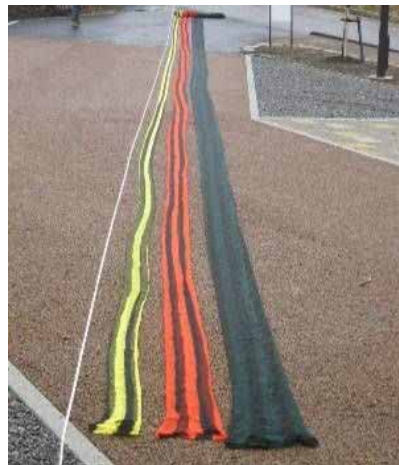
山口県岩国市愛宕山地域開発事業での施工現場です。施工後約2年間のうちに、日降水量が50mmを超える日が9回あり、最大では139mmを記録しました。しかしエコ法枠を設置した箇所では大きな浸食は見られず、高い法面保護性能を示しました。また初期に施工した法面は次第に分解し、自然な法面景観が回復していました。この現場では、当初10,000㎡の施工予定でしたが、コストや環境に優しい工法である事が認められ、最終的には23,000㎡施工することになりました。

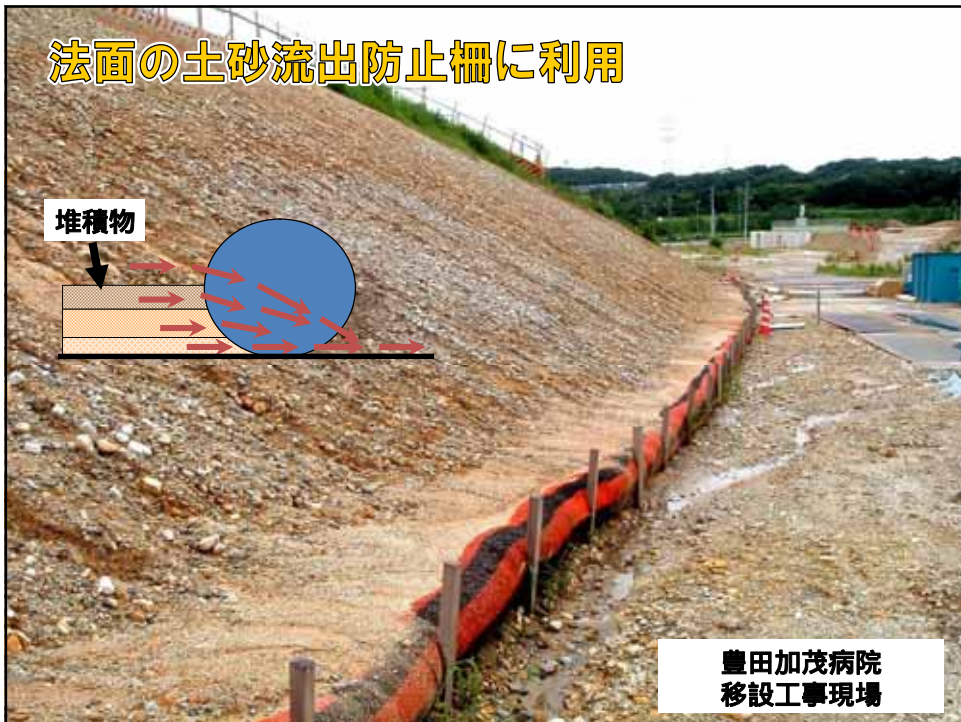


チップの有効利用  
フィルターソックス工法（土留、濁水浄化）



チップの有効利用  
フィルターソックス工法（土留、濁水浄化）







## 従来工法との比較

従来工法



フィルターソックス工法



従来工法 ネットシート柵 ネット目よりも小さな土砂は流出してしまう。  
フィルターソックスはチップが充填されており、細かい流砂も止める事が出来ます。

